

京都府スーパーサポートセンターSSCラボにおいて、第3回公開講座が行われました。

日時 6月24日(金) 10:30~16:30

テーマ インクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮

～合理的配慮がみえる個別の指導計画～

講師 大谷大学教授 木船 憲幸 氏



第3回公開講座は、インクルーシブ教育システム、合理的配慮、個別の指導計画をキーワードに実施されました。京都府内の小・中・高等学校、特別支援学校のコーディネーターの先生方を中心に、27名が受講しました。

講師は大谷大学教授の木船憲幸先生です。木船先生は、文部科学省中央教育審議会専門委員を務められ、「教育支援資料」など重要な資料の編集を手がけられた特別支援教育の専門家です。府専門家チームの一員でもあります。

講義では、まずインクルーシブ教育システムの重要性についてお話されました。子どもたちが授業内容を理解し、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら生きる力を身に付けるためにはインクルーシブ教育システムの構築が必要であり、インクルーシブ教育システムの構築のためには合理的配慮の提供が重要です。また、合理的配慮、基礎的環境整備、ユニバーサルデザインの関係についても、分かりやすく解説してくださいました。またその考え方の根拠となる資料や、現場で具体的な方策に悩んだ時に役立つデータベース・資料も紹介していただき、さらに、実際にスマートフォンでそのwebページを検索する時間もありました。



講義では、まずインクルーシブ教育システムの重要性についてお話されました。子どもたちが授業内容を理解し、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら生きる力を身に付けるためにはインクルーシブ教育システムの構築が必要であり、インクルーシブ教育システムの構築のためには合理的配慮の提供が重要です。また、合理的配慮、基礎的環境整備、ユニバーサルデザインの関係についても、分かりやすく解説してくださいました。またその考え方の根拠となる資料や、現場で具体的な方策に悩んだ時に役立つデータベース・資料も紹介していただき、さらに、実際にスマートフォンでそのwebページを検索する時間もありました。

教育支援資料 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250.htm

インクルDB <http://inclusive.nise.go.jp/>

障害学生支援ガイド http://www.jasso.go.jp/gakusei/tokubetsu_shien/guide_kyouzai/guide/index.html



個別の指導計画作成の実習では、自立活動の6つの視点を総合的に見ることの大切さを学びました。受講者は、調和的・相互関連の観点を中心に、個別の指導計画を作成しました。木船先生は机を回りながら一人一人に声をかけ、丁寧に指導してくださいました。

講義では、受講者の方々から質問が活発に出て、木船先生は熱心に答えてくださいました。現場に向けた熱い思いがひしひしと伝わってくる講義でした。

<参加者アンケートより 感想(一部抜粋)>

- ・合理的配慮、個別の指導計画の立て方について理解が深まった。もっと時間がほしいくらいだった。
- ・紹介された資料(教育支援資料、インクルDB、障害学生支援ガイド等)を学校で使えるように整備したい。
- ・つい狭い視点で子どもを見てしまいがちだが、調和的・相互関連の観点からの分析が重要だと分かった。
- ・校内体制、システム構築にアドバイスをもらえて、コーディネーターとして大変参考になった。

第5回公開講座は、「すべての児童・生徒がわかって参加できる授業づくり」7月27日(水)です。講師は立命館大学非常勤講師の河原和之先生です。(第4回は終了しました)奮ってご参加ください。

対象は京都府内(京都市を除く)の公立小・中・高・特別支援学校等教職員です。